

# アース・エコ メールマガジン 電子瓦版

アース・エコ  
メールマガジン No.9-19  
2019 年 1 月 6 日(小寒)  
特定非営利活動法人  
アース・エコ 発行

アース・エコ会員の皆様と、日頃からアース・エコの活動にご理解、ご支援をいただいている会員外の皆様にアース・エコの活動をお知らせするため、月 2 回、メールマガジンをお届けしています。

明けましておめでとうございます。写真は今年も自宅ベランダから見た初日の出です。地平線から昇った太陽が雲に隠れるまでの僅かなタイミングを狙って写しました。箱根駅伝は東海大の初優勝という波乱の展開で、3 日には熊本で地震がありました。大過なくこの一年が過ぎることを祈ります。



## 2019 年の初めに想うこと



年頭にあたり、昨年の社会の動きを振り返り、様々な問題についてどのように取り組んだら良いかを考えました。

昨年は災害の「災」の文字に象徴される一年でした。冬、関東にも大雪が降り、埼玉で観測史上 1 位の低温を記録するなど寒冬でした。

春は一転して高温で、3 月の東日本の平均気温が史上 1 位の高温でした。6 月下旬、関東地方は観測史上最も早く梅雨が明けました。7 月、西日本では記録的な大雨により大きな被害が出ました。熊谷では歴代最高となる 41.1℃が記録されるなど、猛暑の夏でした。

7 月に上陸した台風第 12 号は西進する異例のコースをたどり、9 月に上陸した第 21 号は関西空港が浸水する被害をもたらしました。10 月には第 24 号の影響による暴風被害のほか、塩害による農作物被害や停電、鉄道の運休もありました。6 月には大阪で震度 6 弱、9 月には北海道で震度 7 の地震もありました。

地震はともかく、気象災害が起きる度にマスコミでは地球温暖化との関連を取り上げる傾向が見られますが、温暖化は地球全体の 10 年単位の気温変化に着目する必要があります。地域的、個別の現象の背景として温暖化の存在を忘れてはなりません。温暖化が災害の主要因であるかのような取り上げ方には賛成できません。

気象災害は、原因となる気象現象とその影響を受ける程度、更に人間や社会の脆弱性との関係で発生します。脆弱性を補強すること(強靱化)が温暖化対策の適応策の本質です。

温暖化対策のもう一方の緩和策は 30 年先を見据えた取り組みが必要です。昨年の COP24 ではパリ協定を実施する上でのルール作りに一応の目途をつけることができましたが、まだ不十分です。国際社会の協調が不可欠ですが自国第一主義の傾向の影響が心配です。

日本国内では、環境省は COOL CHOISE を国民運動として展開しようと努力していますが国民の認知度はまだ低く、関心を高める努力が今後も求められます。

昨年新たに関心が高まった地球環境問題に海洋プラスチック汚染とマイクロプラスチックがあります。プラスチックストローやレジ袋が話題になりましたが対策というよりシンボリックな意味しかありません。地球規模の環境汚染である温暖化とこの問題には共通点が多くあります。

現代社会は電気とガソリンをエネルギー源としており、発電は大部分を化石燃料の燃焼に頼っています。化石燃料の燃焼は温暖化だけでなく、大気汚染、光化学スモッグ、酸性雨による森林破壊、海洋酸性化などの原因でもあります。また、私たちの生活はプラスチック製品なしでは成立しなくなっています。即ち、現代社会は石油、石炭、天然ガス等の地下資源に依存しており、これが温暖化やプラスチックごみの問題の根本原因でもあります。

これらの問題を解決して持続可能な社会を実現するには石油、石炭、天然ガス等の地下資源に依存した生活から一刻も早く脱却することを目指すことが大切です。

昨年は国連の SDGs の取り組みも本格的に始まりました。持続可能な社会を目指し、飢餓や貧困対策など 17 のゴールと具体的なターゲットを示しており、温暖化対策もその一つです。地球規模での問題解決には国際協調が重要ですが、各国政府を動かすのはその国の有

権者です。

経済分野でも ESG 投資の考え方が広がっています。E:環境、S:社会、G:企業統治を大切にしている企業に優先的に投資しようという考えですが、私たちも消費者の立場から ESG を重視する企業の商品を優先して購入することで、この動きを支援することができます。

日本では温暖化に対する関心はまだ低く、省エネなど

の日常生活での取り組みだけでなく、社会を変えていくために私たちが有権者として、消費者としてできることなども、啓発活動を通じて訴えて行きたいと考えます。

アース・エコは今年もこのような取り組みを継続します。昨年に引き続き、アース会員の皆様のご協力と、活動に対してご理解をいただいている会員外の皆様のご支援をよろしくお願いいたします。[代表理事 桑原 清]

## これからの活動予定

- ◇ 1月22日(火) かながわ環境教室 葉山町内の小学校③
- ◇ 2月16日(土) 子ども向け理科実験教室 相模原市立環境情報センター
- ◇ 2月20日(水)、21日(木) かながわ環境教室 葉山町内の小学校④

上記は計画が確定していないものを含みます。詳しくは事務局にお問合せください。 earth.eco.jimukyoku@gmail.com

会員外の皆さんも、例会・勉強会やほとんどの活動を見学することができます。詳しくは事務局にお問合せください。

### 1月の例会・勉強会

1月21日(月) 13:30-16:30  
 かながわ県民センター会議室  
 会員の皆さんのご参加をお待ちしています。

## アース・エコ メールマガジンのバックナンバーは↓からご覧いただけます

<http://www.kiykuwahara.com/page03/page03.html>

## アース・エコは持続可能な社会の実現を目指します

13 気候変動に  
具体的な対策を



7 エネルギー効率を  
向上させる



12 つくる責任  
つかう責任



4 質の高い教育を  
みんなに



9 産業と技術革新の  
基盤をつくろう



17 パートナースHIPで  
目標を達成しよう



地球温暖化などの気候変動とその対策(緩和と適応)について理解が深まり、行動に移す人が増えるように、以下の活動に取り組みます。【13】

- 電気、ガス、ガソリンなどのエネルギーの使用効率を良くする方法を伝え、家庭での省エネの実践を呼びかけます。【7】
- 限りある資源やエネルギーに過度に依存した生活から自然と調和した生活へと、ライフスタイルの変更を呼びかけます。【12】
- 持続可能な社会の姿とそれを実現するための知恵をより多くの人と共有し、行動します。【4】
- 科学者・技術者を目指す子どもが増えるように、科学・技術のおもしろさ・楽しさを子どもたちに伝えます。【9】

以上の活動を、行政、学校、市民団体などとのパートナーシップにより進めます。【17】

地球温暖化やボランティア活動に関心のある方

### 私たちと一緒に活動しませんか？

アース・エコの活動に参加してみませんか。例会・勉強会の見学も歓迎します。事前にメールでお問い合わせください。⇒ [info@npo-earth-eco.com](mailto:info@npo-earth-eco.com)

会員募集中！

アース・エコ

検索



### 私たちの活動は皆さまからのご寄附で支えられています

アース・エコへの寄附は「よこはま夢ファンド」にお申し込みください。インターネットまたは郵送・ファクス・Eメールでお申込みの際に、支援したい団体に「アース・エコ」をご指定ください。税の優遇措置が受けられます。

詳しくは <http://www.city.yokohama.lg.jp/shimin/>

## アース・エコは地球温暖化防止活動に取り組むボランティア団体です。

ホームページ <http://www.npo-earth-eco.com>

お問い合わせ、お申込み、メルマガ配信希望・配信中止のご連絡はこちらまで [info@npo-earth-eco.com](mailto:info@npo-earth-eco.com)